

番号	5 - 32	申請者	副診療放射線技師長 川俣 圭輔
【審査申請課題】 Pre-shotと再撮影Scaleを併用した膝側面撮影の新たな取組み			
【審査課題の概要】 膝側面撮影に関して、これまでの研究より再撮影用のスケールを用いることで、再撮影ではほぼ1回で100%排他基準内の画像を提供することが可能となった。しかし、必ず2回撮影を行うことが必要で、線量が2倍となってしまうことがデメリットとなる。そこで、膝側面撮影で自信がない場合に限り、超低線量撮影（以下、Pre-shot）を行い、Pre-shotの画像からスケールを使用することで、必要最低限の線量で100%排他基準内の画像を提供することが可能か検討する。			
審査結果	承認（ 令和6年3月25日 ）		